

# ScopeCapture II™ デジタルマイクロスコープ(秀 マイクロン3)

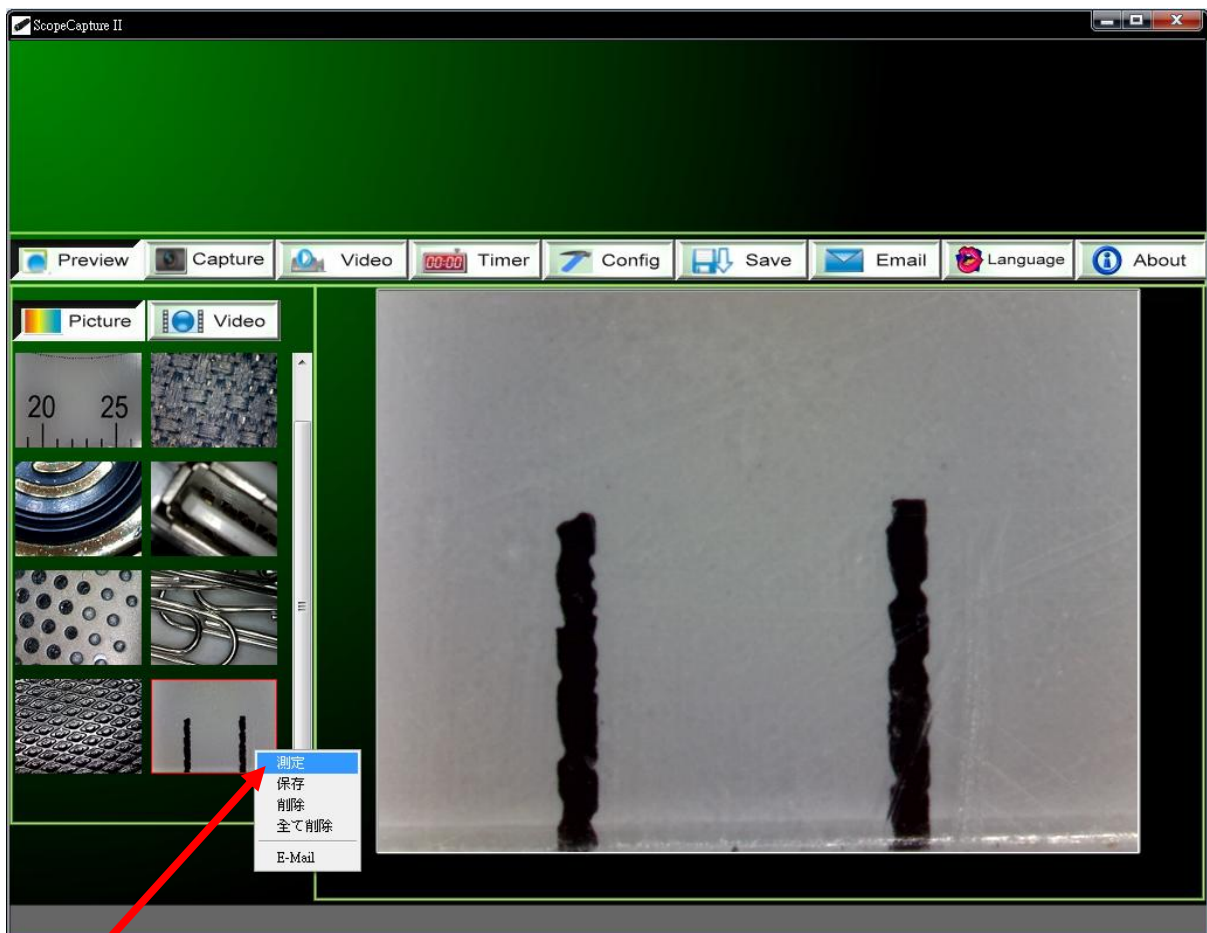
## 画像の編集および測定ソフトウェア ユーザーマニュアル

バージョン: 1.1.1.2

<b>画像の編集および測定ソフトウェア</b>	<b>1</b>
<b>ユーザーマニュアル</b>	<b>1</b>
測定ソフトウェアを開く	3
校正	5
測定付き描画のための操作ガイド	8
ツールバーの説明	9

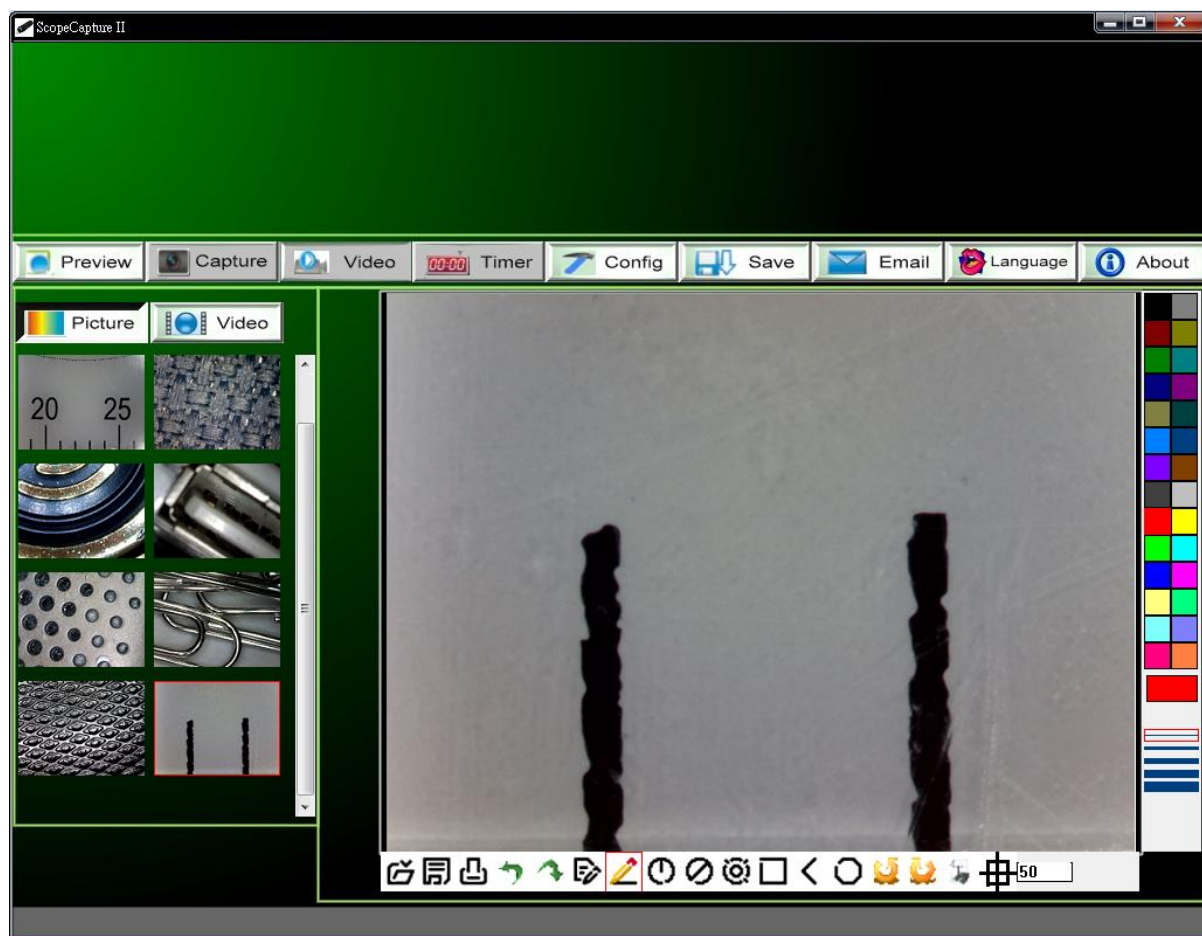
## 測定ソフトウェアを開く

1. プレビュー閲覧フォルダで画像を選択し、マウスを右クリックすると、メニューが表示されます。




[測定] をクリックします。

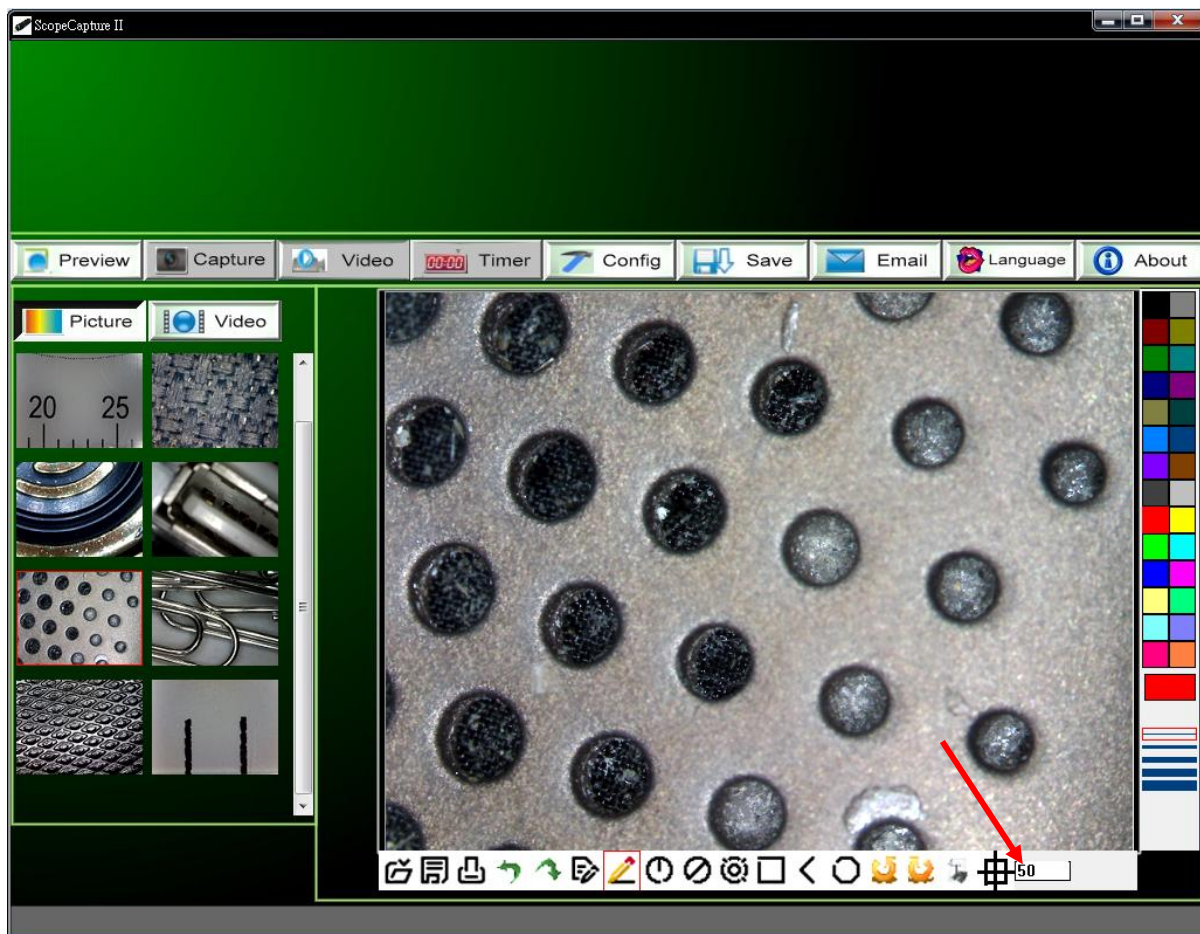
[測定] キーをクリックすると、測定機能が下記のように開きます。



**ScopeCapture II デジタルマイクロスコープ(秀マイクロン3)を使用して画像を測定する前に半自動校正を実行します。**

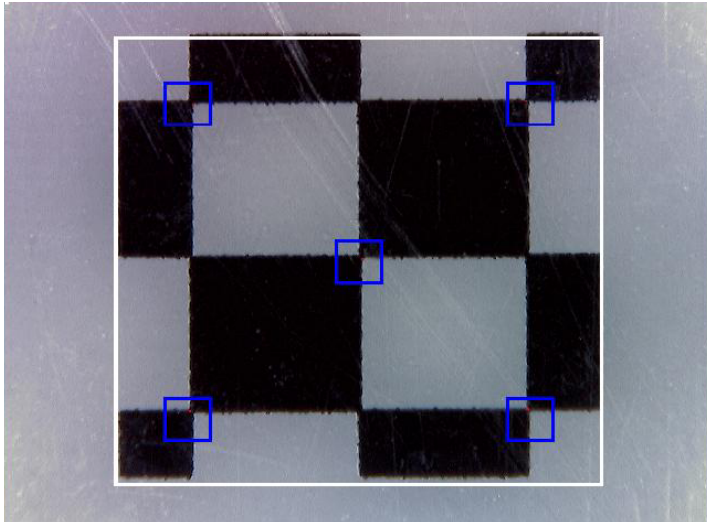
校正:

1. 校正アイコン “”をクリックし、標準倍率を 50 倍に設定します。

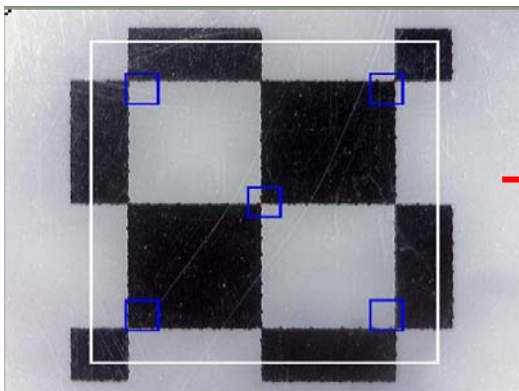


2. キャリブレーションパターンシートに ScopeCapture II マイクロスコップを載せます。画面に黒色/白色のブロックが表示されます。

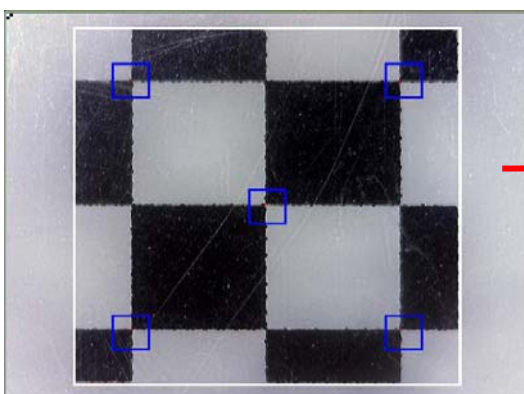




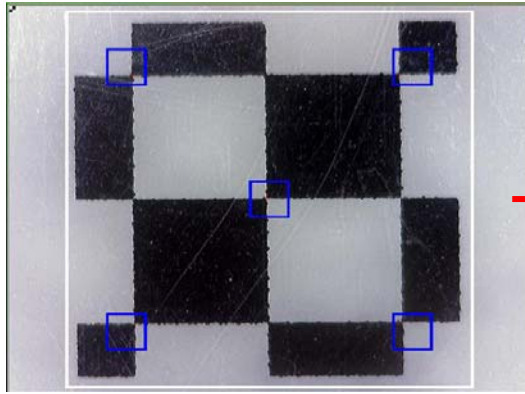
3. キャリブレーションパターンブロック (黒色と白色) を白色の四角形の縁に合わせます。([PgUp] キーを押すと白色の四角形が拡大し、[PgDn] キーを押すと白色の四角形が縮小します。)



[PgUp] キーを押して白  
い四角形を拡大します。

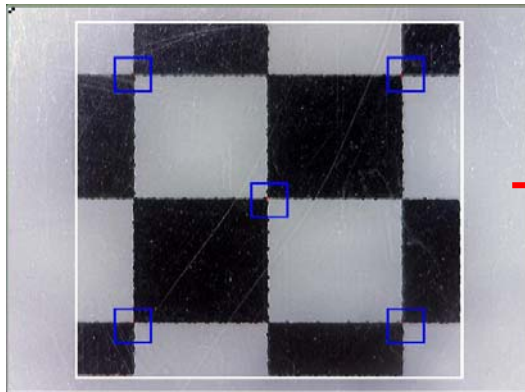




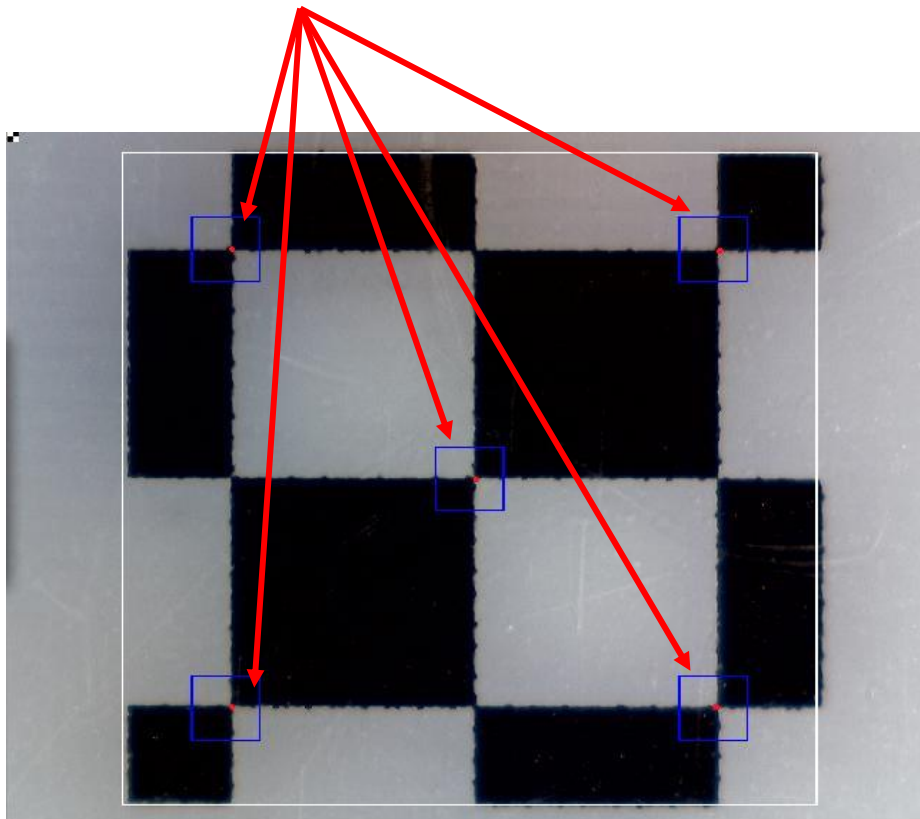


[PgDn] キーを押して白

い四角形を縮小します。

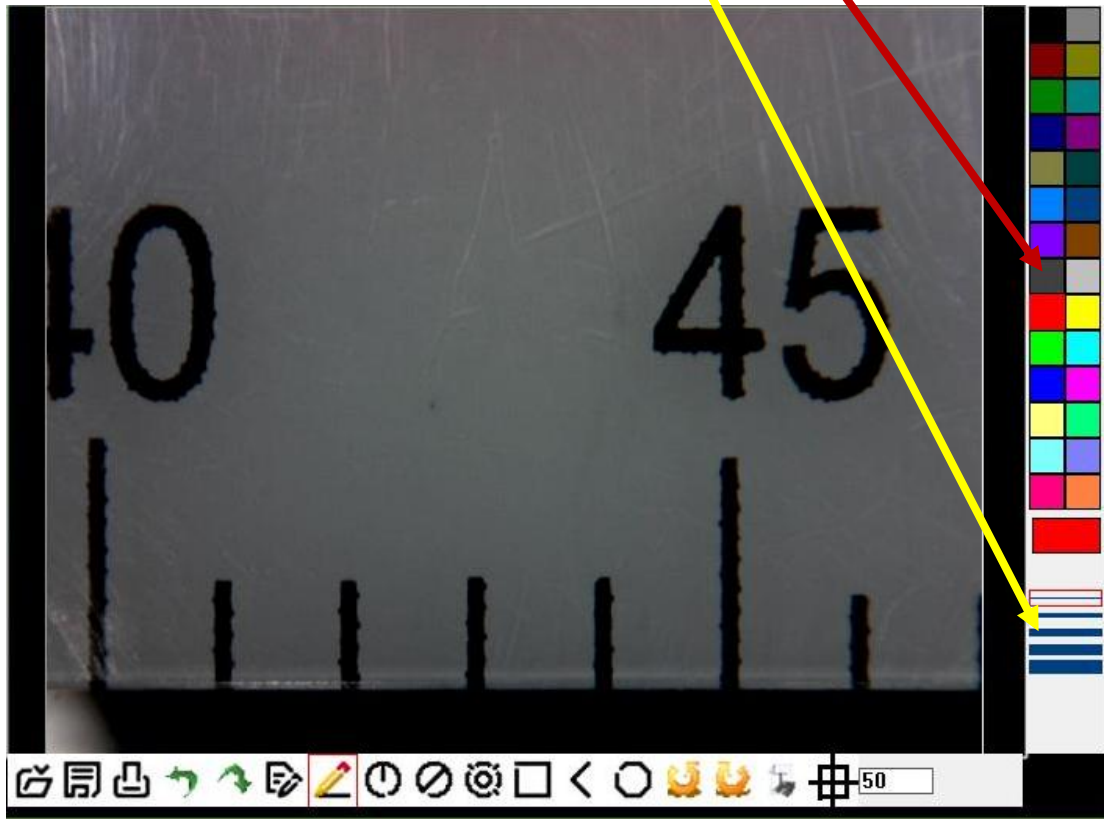


4. 青色の四角形 5 個が大きな白色の四角形の中に表示されます。青色の四角形にはそれぞれ赤い点が1つ付いています。5つの赤い点が黒と白のブロックの交点と整合したら、[OK] をクリックするか、[Enter] キーを押して校正を実行します。



## 測定付き描画のための操作ガイド

下に示すように画像ウィンドウの右側にある描線の [サイズ] と [色] をクリックして設定します。



画像ウィンドウの下にあるツールバーの描画ツールから1つをクリックして選択し、画像ウィンドウで描画を開始します。

選択したツールの種類に従って描画が実行されます。


画像の測定データを表示するには、データを表示したい場所で、もう一度、画像を左クリックします。データは、設定した色とフォントで画像上に表示されます。

(注記: 右クリックすると、測定が終了します。)

マウスの右キーをクリックして、測定を終了します。



## ツールバーの説明

 ファイル: 編集または測定を行うファイル (“bmp” 形式をサポート) を開きます。

 保存: 写真フォルダに操作した写真を保存します。

 印刷: 現在指定した写真を現行のままで印刷します。

 戻る: 前の描画状態に戻します。

 進む: 次の描画状態に進みます。

 テキスト挿入: 写真にテキストを入力します。

 描線: ラインを引き、長さを測定します。


 半径: 半径を示した円を描画し、円の面積を測定します。


 直径: 直径を示した円を描画し、円の面積を測定します。


 円弧: 円弧を示した円を描画し、円の面積を測定します。

 長方形: 長方形を描画し、長方形の面積を測定します。

 角度: 角を描画し、角度を測定します。

 多角形: 多角形を描画し、多角形の面積を測定します。(注意: 「Ctrl+C」またはマウスの中央ボタンホイールを使用して描画を完了します。)

 左に 90 度回転: 編集ウィンドウで画像を左に 90 度回転します。

 右に 90 度回転: 編集ウィンドウで画像を右に 90 度回転します。



フォント設定: 文字のフォント、サイズ、色を選択します。



校正: キャリブレーションパターンシートを使用して半自動校正を行います。

50

倍率: 倍率調整の示すとおり、ブロックに正しい倍率を入力します。

